建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電　話（03）3259-8711
FAX（03）3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2014

東北で初採用

日綜産業クイックデッキ

工期短縮、安全作業に寄与

「鈴地区構造物補修工事」に採用

日綜産業の吊り足場「クイックデッキ」が、国直轄工事では初めて国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所発注の「鈴地区構造物補修工事」（施工＝マルゴ、蛸井寿昭所長）に採用され、工期の短縮と作業の安全性向上に寄与している。同足場の採用は自治体などを含めて東北第1号ともなる。

「クイックデッキ」は、米最大手仮設メーカーのセーフウェイ社と国内独占販売契約して市場展開している。人力のみの簡易な組み立て、トラス構造による高い強度、快適な作業空間の提供、跳ね出し作業床による安全かつスピーディーな施工の実現など、高い安全性と施工性・効率性を兼ね備える。

今回の工事では、山形と新潟の県境に近い鶴岡市鈴地区の道路橋7橋を補修する。このうちクイックデッキは、鋼橋の鼠ケ関川橋（長さ約90㍍、幅約13㍍）の補修工事用足場として、約1500平方㍍が採用された。従来の単管吊り足場なら組み立て作業に約2カ月かかるが、今回は通常の4分の1の人員にもかかわらず20日間で終了した。

蛸井所長は、工期短縮とともに「これだけフラットな足場は経験がない。安定した足元を確保してから作業を行えるので非常に安全だ」と、安全確保と作業性向上の効果を強調。今後、同工事の一環として着手するコンクリート橋補修にも採用を予定しているという。

今回の組立作業を担当し、日綜産業のパートナーとして普及に取り組んでいる有賀組の有賀哲社長も「（クイックデッキなら）作業員を安心して送り出せる」と安全性能に太鼓判を押す。

クイックデッキはことし6月の発表以来、これまでに14現場で採用されているほか、10件の内定を得ている。さらに100件程度の引き合いがあるという。